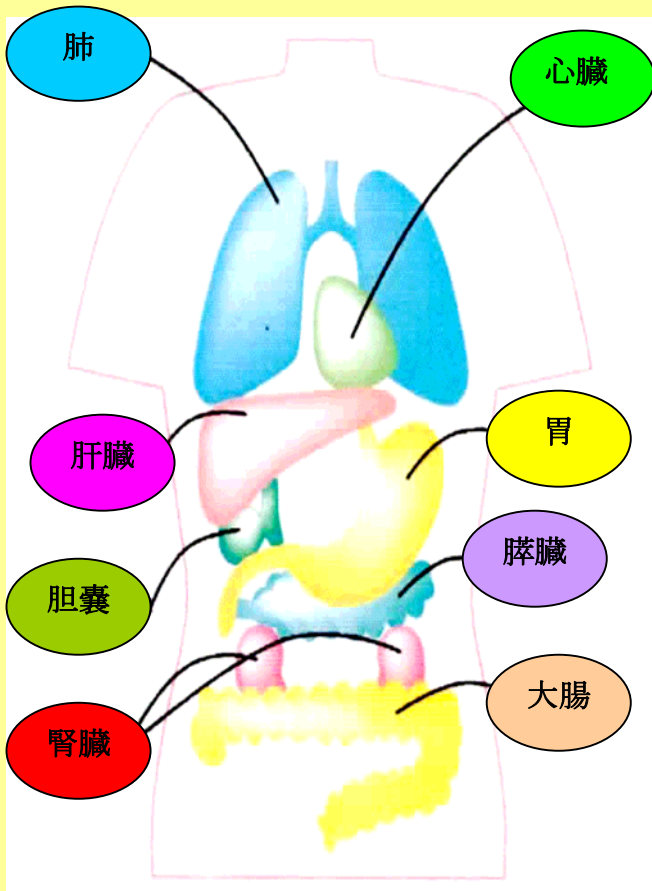


検査内容のご説明



検査項目	検査内容の説明
------	---------

① 全身	TP (総蛋白)	栄養状態や肝機能障害など、全身の健康状態がわかる
	ALB (アルブミン)	アルブミンとグロブリンの比率
	A/G 比	
	蛋白分画	

② 肝臓	T-Bil (総ビリルビン)	肝臓、胆道系疾患で高くなる
	TTT (チモール)	肝障害や炎症性疾患の程度を知ることができる
	ZTT (クンケル)	
	AST (GOT)	肝炎、心筋梗塞で高くなる
	ALT (GPT)	肝炎、脂肪肝で高くなる
胆管	ALP	肝臓、胆道、骨の状態を知ることができる
	γ-GTP	アルコール性肝障害で高くなる
	ChE	肝臓の状態をみることができる
	NH ₃ (アンモニア)	肝機能の低下で高くなる
	LDH	多臓器由来の酵素で各種疾患において高くなる

③ 心臓	CPK	心筋や骨格筋や脳の状態を知ることができ、激しい運動の後では高くなることもある
---------	-----	--

⑨ 炎症症	RF	リウマチの有無を知ることができる
	CRP	炎症状態の有無や程度を知ることができる
	WBC (白血球数)	細菌感染や炎症で高くなる 血液の病気でも変動する

④ 膵臓	AMY (アミラーゼ)	膵臓の状態を知ることができ、膵炎や虫歯などで高くなる
	U-AMY (尿アミラーゼ)	膵臓疾患で高くなり、早期診断や経過観察に役立つ
	LIPA (リパーゼ)	膵液のうっ滞や膵臓の組織破壊で高くなる

⑩ 前立腺	PSA	前立腺の代表的な腫瘍マーカーで前立腺癌は高くなる
----------	-----	--------------------------

⑤ 腎臓	BUN	腎臓から排出される老廃物で、腎機能の指標になり、尿酸は痛風で高くなる
	CRE (クレアチニン)	
	UA (尿酸)	

⑩ 感 染 症	HBsAg (HBs抗原)	B型肝炎ウイルスの感染状態を調べる検査
	HCV抗体	C型肝炎ウイルスの感染状態を調べる検査
	TPHA	梅毒の感染状態を調べる検査
	RPR	

⑥ 脂 質	T-Chol 総コレステロール	ホルモンや細胞膜の材料が多いと動脈硬化を起こす
	TG (中性脂肪)	偏った食事や運動不足で増える悪玉コレステロールを増やす
	HDL-C	善玉コレステロールで動脈硬化を予防する
	LDL-C	悪玉コレステロールで動脈硬化を促進する

⑫ 貧 血	Fe (鉄)	鉄欠乏性貧血や鉄過剰を疑うときに有用な検査
	RBC (赤血球数)	肺で取り入れた酸素を全身に運ぶもので少ないと貧血の疑い
	HGB (ヘモグロビン)	赤血球の中の物質で、酸素を運ぶ働きをしている
	HCT (ヘマトクリット)	血液全体に占める赤血球の割合で、少ないと貧血の疑い
	ESR (血沈)	細菌感染や白血病などで亢進するが、疾患特異性が低い

⑦ 糖 代 謝	GLU (血糖)	高値は糖尿病が疑われる (採血は空腹時に行う)
	HbA1c	過去1-2ヶ月の血糖の平均値で高値は糖尿病疑い
	IFCC	HbA1c値からの換算値 (欧州の単位)
	HbF	胎児性ヘモグロビンで血液疾患の有無を調べる
	ケトン体	糖尿病や長期絶食で高くなる

⑬ 腫 瘍	AFP	肝臓の代表的な腫瘍マーカー(指標)肝臓癌で高くなる
	CEA	大腸などの消化器系の代表的な腫瘍マーカー(指標)
	CA-19-9	膵臓、胆道系の代表的な腫瘍マーカー(指標)

⑧ 電 解 質	Na	水分やミネラルのバランスで、栄養状態や腎臓の状態をみることができる。 カルシウム(Ca)や無機リンでは、骨の状態を知ることはできる。 利尿剤を服用しているときは、カリウム(K)が低くなる。
	K	
	Cl	
	Ca	
	IP(ムキリン)	

検査の詳しい説明や、わからないことがあれば担当医又は、臨床検査科にご相談下さい。

社会医療法人 戸畑共立病院

臨床検査科